

中学生の森林教育を支援～森林と人との関わりの理解醸成～

1 目的

平成25年6月5日に、大船渡市立日頃市中学校で、1年生を対象とし、地域の歴史、文化、自然を学び地域の理解の醸成を図るため実施している総合的な学習を支援するため、地域の植物の説明と森林等に関する解説を行いました。

ところ、手を挙げた生徒が一人も無く、念のため、農業についても確認したところ半数以上の生徒が手を挙げ、中学生の林業に対する認識の低さを感じました。

このため、児童、生徒に対して、継続的に林業に関する啓発普及を行う必要性を改めて感じました。

2 実施概要

(1) 野外学習

日頃市町周辺に自生する植物で、花や新緑が特に目立つものを中心に、その特徴や生育環境等について説明を行いました。サンショウなどの比較的生活に関わりの深い植物は、人と植物の関わりについても併せて説明を行いました。（図-1）



図-1 野外学習

(2) 森林と人との関わりに関する授業

森林と人との関わりについて理解を深めてもらうため、日本や岩手の森林の概要、地球温暖化の仕組みの説明、森林の役割、林業の概要、生物の名前を覚える意義等について解説を行いました。



図-2 森林と人との関わりに関する授業

3 今後の課題

身近に森林が多い地域ですが、動植物等に関心が高い生徒が少ないように感じました。

また、林業知っているかを確認した